

## 愛知淑徳大と

## 下呂市が協定

地域活性化狙い

下呂市と愛知淑徳大による連携協定の調印式が愛知県長久手市の同大長久手キャンパスであり、学生や市民との交流をより深めていくことを確認した。

式には、服部秀洋下呂市長と島田修三学長らが出席。協定書には、下呂市の地域活性化や知的資産の相互活用、学生ボランティアなどを盛り込んだ。

愛知淑徳大の林間学舎淑友館が一九八八年に同市小坂町に完成した縁で、これ

までも交流を続けてきた。今回の協定書締結により、いっそう緊密な連携を進め、地域の活性化につなげる。  
(吉田幸雄)



協定書に調印した島田学長(左)と服部市長(右)。6日、愛知県長久手市の愛知淑徳大長久手キャンパスで(下呂市提供)

2019年9月13日(土) 中日新聞14面より  
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。